

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 4 部門第 1 区分

【発行日】平成 29 年 7 月 13 日 (2017.7.13)

【公開番号】特開 2015-224476 (P2015-224476A)

【公開日】平成 27 年 12 月 14 日 (2015.12.14)

【年通号数】公開・登録公報 2015-078

【出願番号】特願 2014-110075 (P2014-110075)

【国際特許分類】

E 0 4 B 1/80 (2006.01)

B 3 2 B 15/04 (2006.01)

【F I】

E 0 4 B 1/80 1 0 0 Q

E 0 4 B 1/80 1 0 0 H

B 3 2 B 15/04 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 5 月 25 日 (2017.5.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

2 枚の金属部材（該金属部材は、同一でも異なってもよい）の間に断熱層を挟み込んでなる断熱積層体であって、

前記断熱積層体が、

芯材となる断熱層と、

前記断熱層の一方側面と他方側面にそれぞれ設けられた金属部材と、を備え、

さらに少なくとも前記断熱層の外周側面には、耐水性塗膜が設けられていることを特徴とする断熱積層体。

【請求項 2】

前記断熱層の密度が、 $70 \sim 400 \text{ Kg} / \text{m}^3$ であり、

以下の測定方法を用いて算出された吸水率が、5 % 以下である、請求項 1 に記載の断熱積層体。

〔測定方法〕

J I S A - 5 9 0 8（吸水厚さ膨張率の吸水率の測定方法）に準じて、該断熱積層体の初期重量（ $w_1$ ）を測定し、 $20 \pm 1$  の水中に 24 時間浸漬させた後の該断熱積層体の重量（ $w_2$ ）を測定し、以下の式（1）にて、吸水率を算出する。

$$\text{吸水率}(\%) = (w_2 - w_1) / w_1 \times 100 \quad \cdots (1)$$

【請求項 3】

前記耐水性塗膜が、有機イソシアネート系樹脂、エポキシ系樹脂、アクリル系樹脂、合成ゴムラテックス系樹脂、シリコン系樹脂、酢酸ビニルエマルション系樹脂および水性高分子 - 有機イソシアネート系樹脂の中から選ばれる少なくとも 1 種の樹脂を含んでなる、請求項 1 または 2 に記載の断熱積層体。

【請求項 4】

前記断熱層が、セルロース繊維、木材繊維、ポリエステル繊維、ポリエチレン繊維などのポリオレフィン繊維、ポリアミド繊維、ミネラルウール、ウオルストナイト、カオリン、グラスウール、ガラス繊維、セラミックス繊維、ウレタンフォーム、ポリスチレンフォ

ーム、フェノールフォームおよびポリエチレンフォームの中から選ばれる少なくとも１種の材料を含んでなる、請求項１～３のいずれか一項に記載の断熱積層体。

【請求項５】

前記金属部材が、金属薄板、鉄、アルミニウム、銅、ステンレス、チタン、アルミニウム・亜鉛合金メッキ鋼板、ホーロー鋼板、クラッド鋼板、ラミネート鋼板、サンドイッチ鋼板またはガルバリウム鋼板である、請求項１～４のいずれか一項に記載の断熱積層体。